

講義名	ドイツ語初級		
科目区分	グローバル展開		
担当教員	海老原 由美子		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
ドイツ語入門（ドイツ語Ⅰ）で学んだドイツ語を復習しながら、様々な新しい場面での表現を学び、体験学習を重ねます。ドイツに語学留学した Seiko に自分を重ね合わせて、パーティーに行ってみましょう。昨日パーティーで何を飲んだの？始めて、過去について話せるようになります。やがて訪れるクリスマス、ジルベスター（大晦日）、新年。ドイツでは？日本では？それぞれの国の人々の祝祭の過ごし方について学びます。聖子はベルギー一家の旅行で留守番の大役も果たします。そして留学の一年が終わり、お別れパーティーです。聖子は一年を振り返ります。「もっと時間があつたら、もっとドイツ語を学べたのに。」実際に使える身近な表現を学んだ後に、文書の規則性に気づく。このプロセスを大事にして文法を学びます。まずは表現を学び聞き、声に出して体験学習し、文法へ。すべて、ペアかグループワークとなります。ドイツ語と取り組みながら、ランデスクンデ（文化や習慣）も学びましょう。

到達目標
過去の表現が可能となり、表現の幅はぐんと広がります。また、ドイツで最大の祝祭、クリスマスの様々な習慣をドイツ語で学ぶことで、ドイツが身近に感じられることでしょう。日本の大晦日や新年についての表現を学んで、異文化理解への一歩を踏み出すこともできるようになります。留学生の方々も自国の祝祭文化と比較してみてください。自国の文化を表現することは意外に難しいです。是非、この機会にドイツ語でのその表現をマスターして欲しいと思います。もちろん、初級ですから、簡単な表現からはじめましょう。ベルギー一家の旅行に際し、ドイツでの休職の過ごし方も学びましょう。いつか、ドイツへ旅行したときに役立つかもしれません。「もしもっと時間があつたら、もっとドイツ語を学べたのに。」という聖子と同じくらい、ドイツ語とドイツを体験する。それが目標です。
提出課題
毎回の授業の復習として、教科書に添付されたワークシートはもちろん、教科書の内容を補うワークシートの提出が課題となります。週に一度の授業ですので、この課題提出は評価の重要なポイントとなります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
オンライン授業となり、課題は提出していただきますが、解答もオンラインで提示することになるため、自分自身でチェックする必要があります。双方向オンライン授業の中で、皆さんが提出された課題のミス傾向などお伝えするようにします。

評価の基準
平常点（出席 - 15%、提出物 - 25%）40% 筆記試験（中間テスト - 25%、期末テスト - 25%）50% 発音チェック（中間 - 5%、期末 - 5%）10%
前期は定期試験を行わないことになりましたので、授業中に中間&期末というかたちで、テストを独自に行うことで、評価に結びつけたいと思っています。

履修にあたっての注意・助言他
教科書（ワークブック付き）は必ず、買うようにしてください。音声は教科書にダウンロード・ストリーミングのurl があります。聞き取りに力を入れたので音声をよく聞くようにしてください。音には慣れることが一番だからです。ペア、グループでのワークが中心ですから、互いに助け合って、自発的に授業に参加すれば、ドイツ語力がついてゆきます。
備考
一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。

教科書
『自己表現のためのドイツ語Ⅰ<プラス>』. 板山眞由美 塩路ウルズラ 本河裕子 吉 三修社 \ 2600 978-4-384-12303-6 アポロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

プリント資料及び参考文献
<推薦辞書・サイト> アポロン独和辞典 同学社 / 辞書サイト glosbe

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> L7 パーティーの後 「何を飲んだの？」habenを使って現在完了形で過去を表現する。 L7 パーティーの後 「昨日何時に帰宅したの？」sein を使って現在完了形で過去を表現する。 L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方1→クリスマス市での買い物。 L8 クリスマス ドイツのクリスマスの過ごし方2→贈り物のシーズン。「～に - - - を贈る」の表現。 L9 大晦日の晩 ドイツの大晦日の（ジルベスター）晩の過ごし方。 L9 大晦日の晩 日本の大晦日の（ジルベスター）晩の過ごし方。 L7～L9のまとめと復習 中間テスト（筆記試験）と発音のチェック L10 ベルギー一家の旅行 旅行の準備。「聖子が一緒に旅行しないのは残念だね」 L10 ベルギー一家の旅行 留守番の聖子がベルギー一家の不在を伝える。間接疑問文や従属接続詞を使って表現の幅をさらに広げよう。 L11 お別れパーティーで 一年を振り返り聖子がアランとの別れを惜しむ。 L11 お別れパーティーで 一年を振り返り過去の出来事を書く→助動詞の過去形を学ぼう。 L12 もしもっと時間があつたら 願望を表現する→接続法を使ってみる。 L12 もしもっと時間があつたら 相手の願望を尋ねる→ // まとめと期末テストの準備

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習） <input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） <input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート <input type="checkbox"/> エ：グループワーク <input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション <input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
復習を重視します。復習プリントを必ず課題とします。それが次回の授業への理解に繋がります。復習する習慣をつけてください。教科書を開いてみる。音声を聞く。授業でトレーニングした会話文を音読する、新しく学んだ単語を書き出すなど、いろいろな方法を取り入れてみましょう。毎回1時間程度の復習をよろしく願います。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考
一回目の授業には必ず出席してください。履修への注意事項やアドバイス、授業の進め方など重要事項を説明します。受講生の理解度に応じて、授業の進度を調整したり、授業や課題の内容を変更する場合があります。全体として、発音を重視しますので、授業中の発音練習・会話練習に積極的に参加してください。